

2024年12月期 第1四半期決算説明資料

STOCK CODE : 3695

GMO RESEARCH & AI

代表取締役社長 細川 慎一
取締役グローバルCFO 森 勇憲

2024年5月8日

目次

1. 結論と要約

2. 事業概況

Appendix

1. 結論と要約

結論と要約 | 決算サマリー (第1四半期)

- ✓ **売上高**：前年比▲4.6%だが、2Qまで続く特殊要因(約1.8億円)を除くと前年比+9.1%。
特に、国内事業会社向けは、前年比+57%。全体的には想定範囲内。
- ✓ **売上総利益**：粗利率は前年と同率。
ポイント原価率は改善したが、売上減により原価内の固定費率が上昇。
- ✓ **販管費**：営業体制変更、AI活用、CASHMART事業、海外為替影響等による増加。

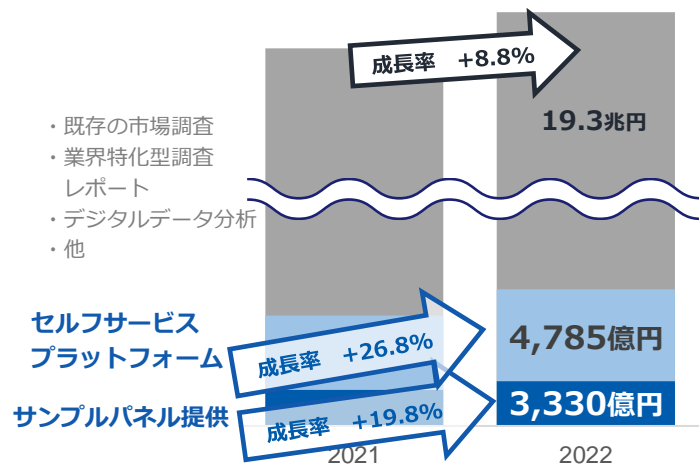
(単位：百万円)	2023 (1-3月)	2024 (1-3月)	増減額	増減率
売上高	1,427	1,361	▲65	▲4.6%
売上総利益	716	683	▲32	▲4.5%
販売管理費	518	564	+45	+8.9%
営業利益	198	119	▲78	▲39.6%
経常利益	191	122	▲69	▲36.3%
最終利益	135	92	▲43	▲32.1%

2. 事業概況

事業概況 | 世界のリサーチ市場トレンド

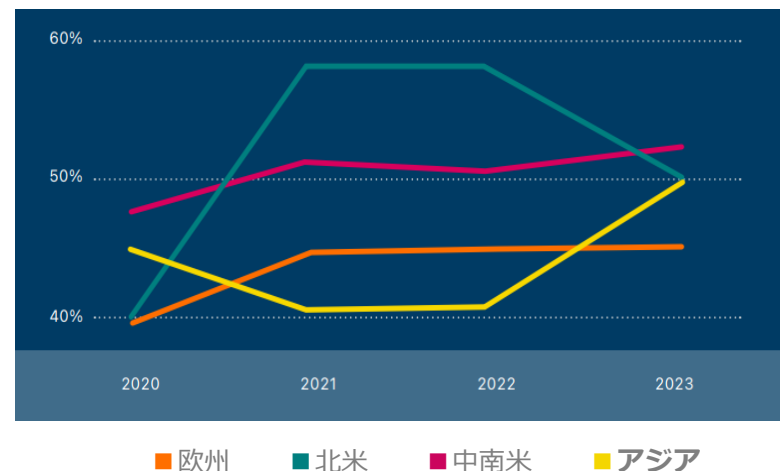
- ✓ 業界の中でも特に大きな成長をしているセルフサービスプラットフォーム市場とサンプルパネル提供市場。
- ✓ セルフサービスプラットフォーム市場の成長は調査内製化率の高まりトレンドに起因。

世界データ分析・インサイト（従来のリサーチ）市場



USD/JPY=150円

調査内製化率推移（%）



出所) ESOMAR, Global Market Research 2023, Global Users & Buyers of Insights 2023, JMRA第48回経営業務実態調査, 当社有価証券報告書

事業概況 | 粗利率の高い取引に注力

国内

- ✓ サンプルパネル提供市場ではシェア率1位
- ✓ 成長著しいセルフサービスプラットフォーム市場で急成長中。

海外

- ✓ 特にアジアのサンプルパネル提供市場にフォーカスし、調査会社向け販売を拡大することで粗利率を改善中。

事業会社

* AIで調査設計、レポート内製化

急成長中

粗利率
74%*

調査会社（調査設計＋レポート）

国内シェア 67% 1位

既存の市場調査市場

世界シェア 2% 9位

粗利率
59%*

急成長中

粗利率
51%*

グローバルパネル会社

粗利率
37%*

GMO RESEARCH&AI

セルフサービスプラットフォーム市場

AI機能を拡充し、内製化の後押し

サンプルパネル提供市場

AI機能を拡充し、業界全体の生産性・付加価値向上

2023年 平均粗利率* : パネル原価のみ勘案（人件費除く）

事業概況 | 業界全体のトレンド変更・特殊要因の影響概要

- ✓ 2024年1Qにおいて特殊要因の影響額は前年対比で1.8億円。
- ✓ 2024年2Qまで継続し、3Q以降は発生しない予想。

業界全体のトレンド変更・特殊要因

- ✓ 高原価案件の絞り込み (開始時期 前年対比影響額)

海外

グローバルパネル連携

23年3Q ~

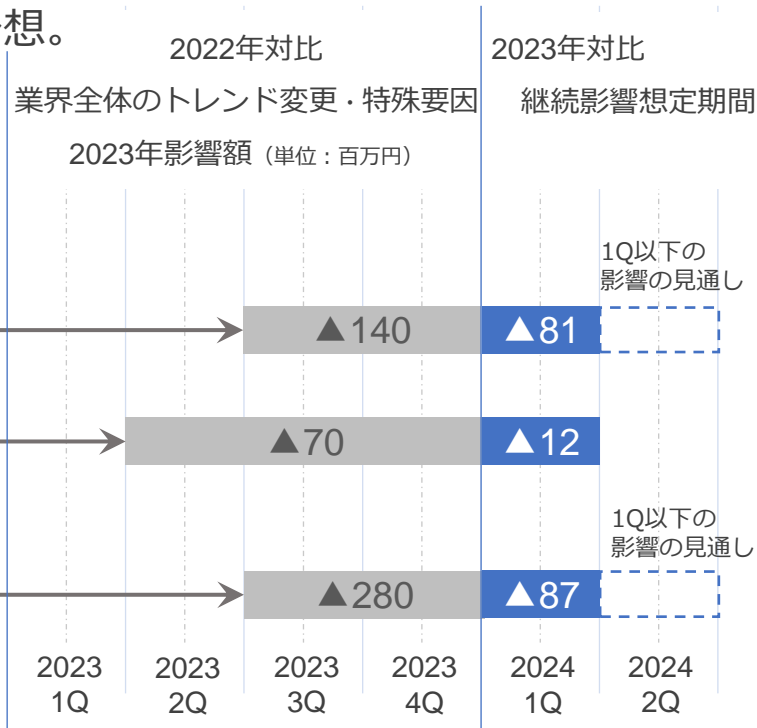
中国・インド調査会社

23年2Q ~

- ✓ 資本再編・特定大型案件の減少 (開始時期 前年対比影響額)

国内

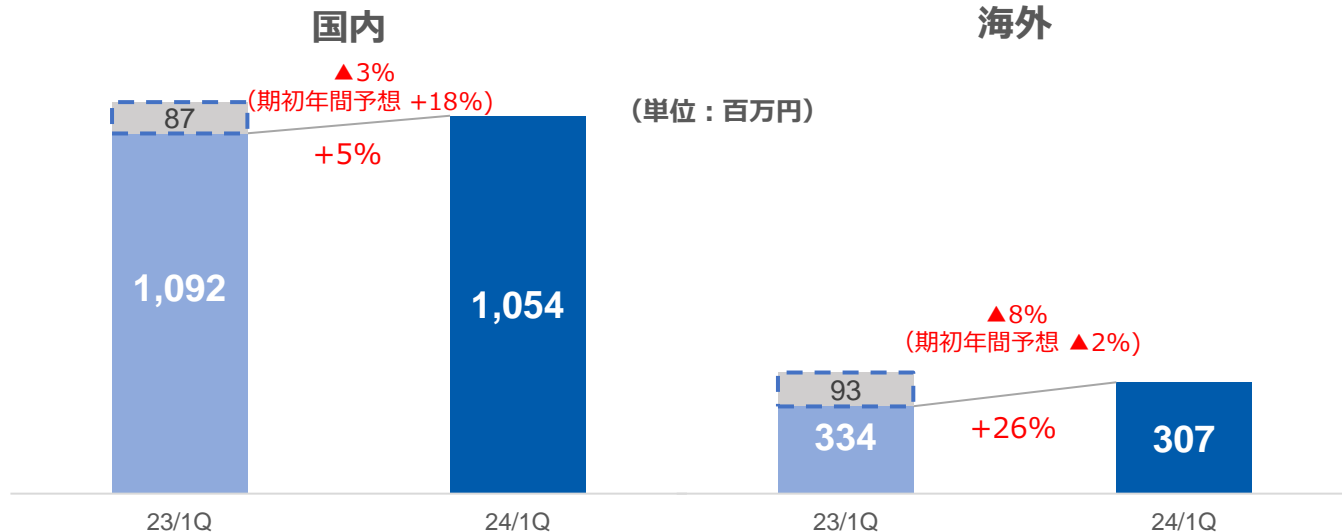
23年3Q ~



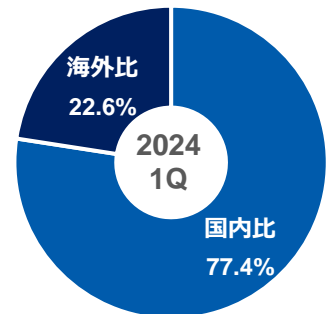
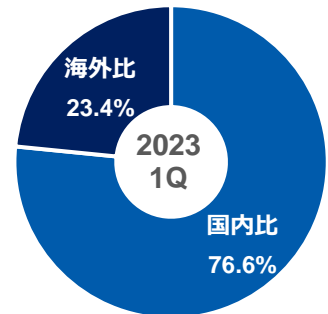
事業概況 | 国内・海外売上高 1Q実績

- ✓ 国内は、前年比▲3%。
業界全体のトレンド変更・特殊要因による影響が約87百万円。
その分を除けば前年比+5%。

- ✓ 海外は、前年比▲8%。
業界全体のトレンド変更・特殊要因による影響が約93百万円。
その分を除けば前年比+26%。



売上構成比



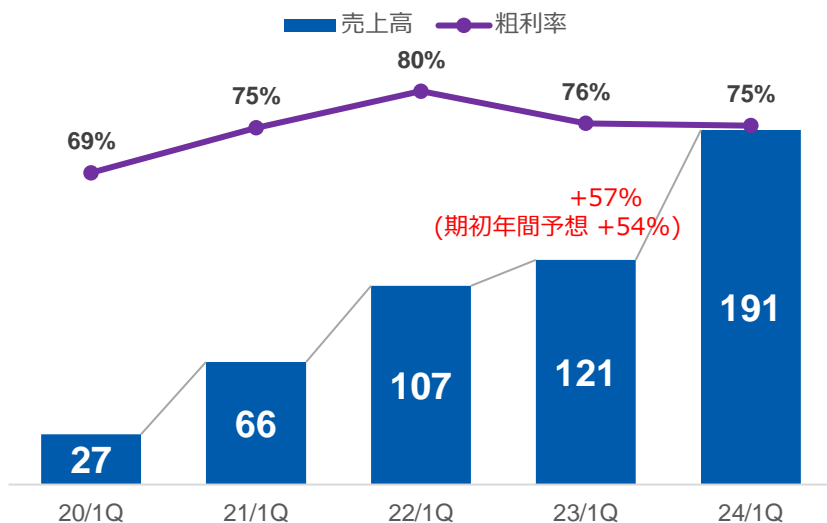
事業概況 | 国内販売先別 1Q実績

(単位：百万円)

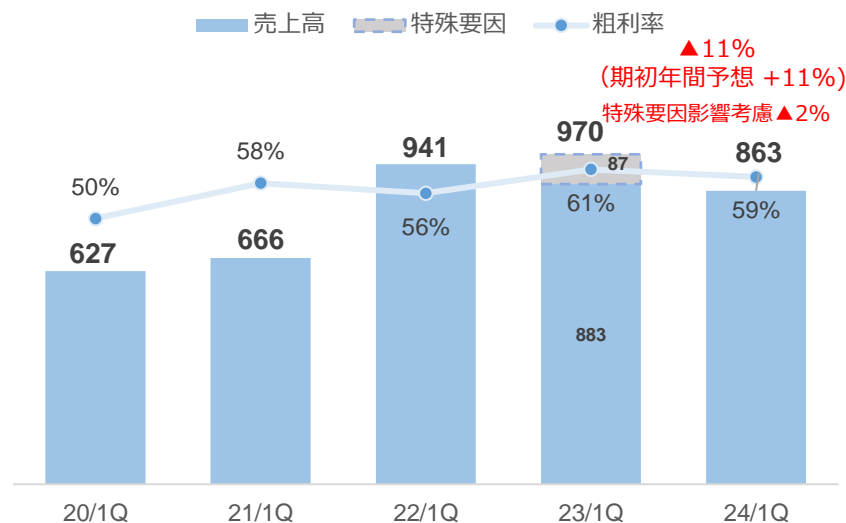
- ✓ 事業会社向けは、売上高前年比+57%と想定通り成長。
- ✓ 粗利率も高く維持。

- ✓ 調査会社向けは、特殊要因を除けばほぼ下げ止まり。粗利率もほぼ前年並み。

国内1Q 事業会社



国内1Q 調査会社



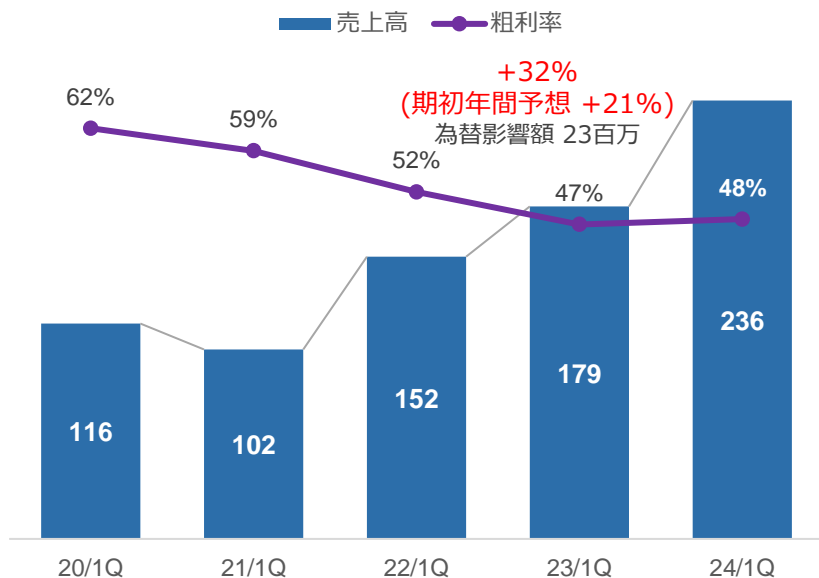
事業概況 | 海外販売先別 1Q実績

(単位：百万円)

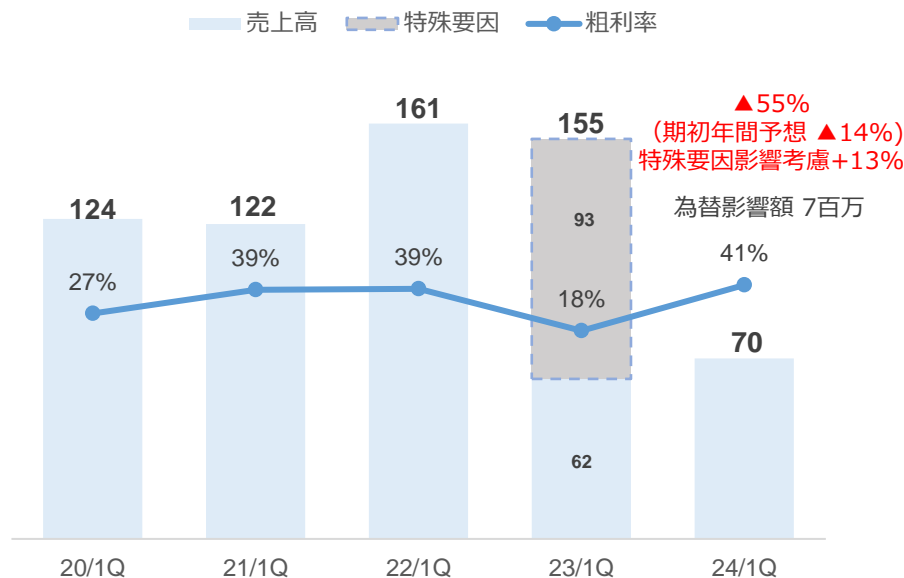
- ✓ 調査会社向けは、継続成長で粗利率も前年比改善。

- ✓ グローバルパネル会社向けは、特殊要因除けば下げ止まり。粗利率は前年比改善。

海外1Q 調査会社



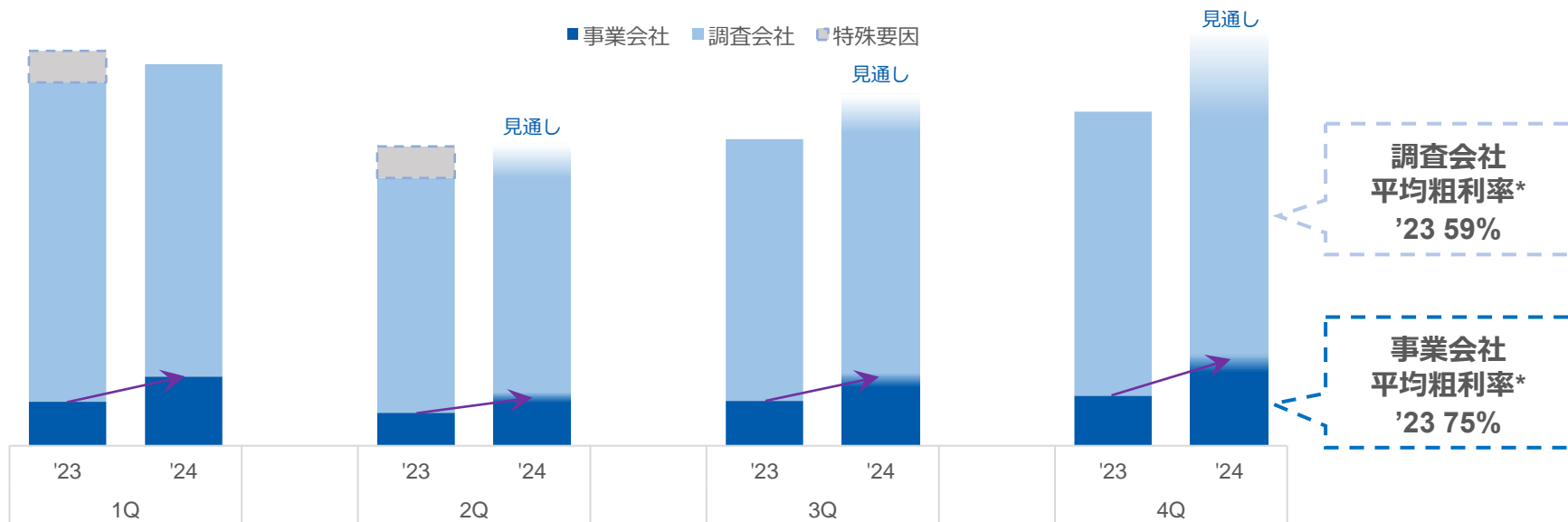
海外1Q グローバルパネル会社



事業概況 | 国内販売先別 通期見通し

- ✓ 粗利率の高い事業会社向け売上は2Q以降も継続成長の見通し。
- ✓ 調査会社向け売上は2Qまで対前年度比で特殊要因影響は継続、3Q以降は影響ない見通し。

国内

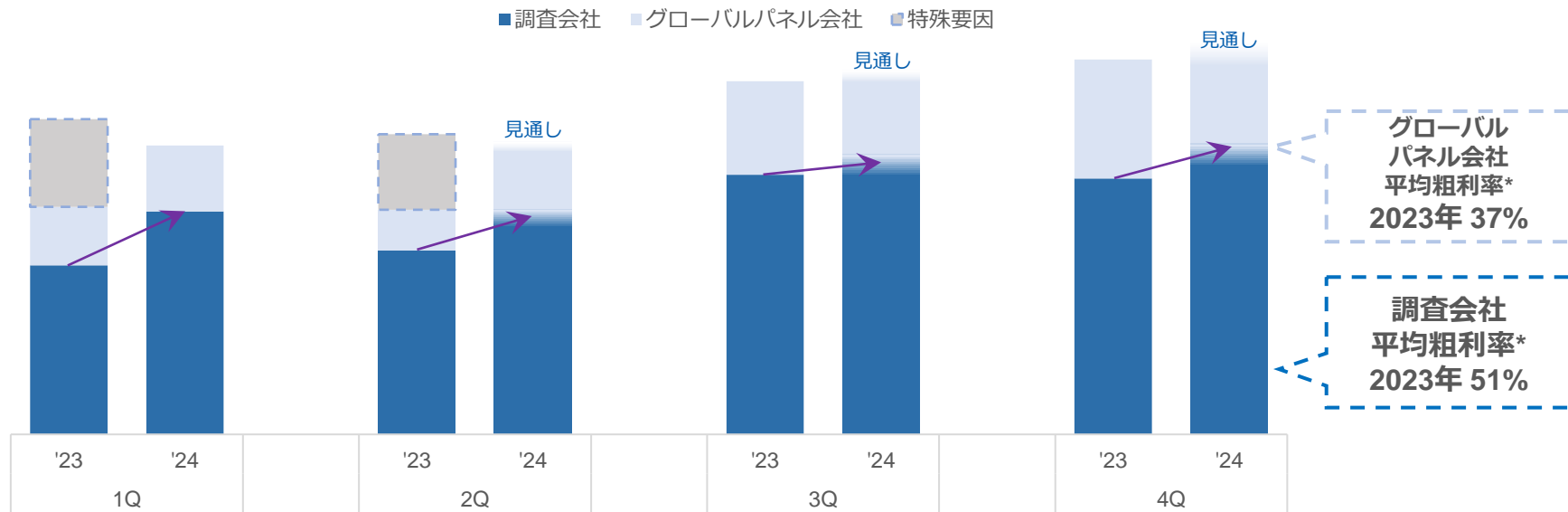


平均粗利率* : パネル原価のみ勘案 (人件費除く)

事業概況 | 海外販売先別 通期見通し

- ✓ 粗利率の高い調査会社向け売上は2Q以降も継続成長の見通し。
- ✓ グローバルパネル会社向け売上は2Qまで対前年度比で特殊要因影響は継続、3Q以降は影響ない見通し。

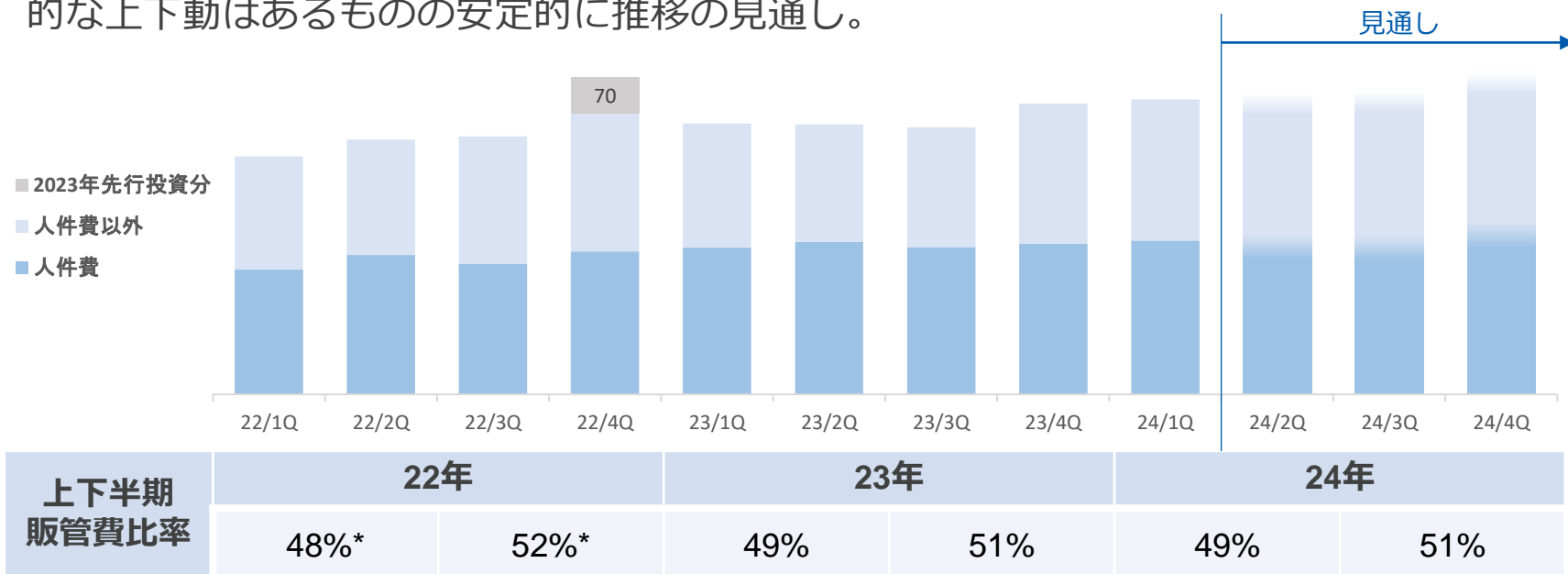
海外



通期平均粗利率* : パネル原価のみ勘案 (人件費除く)

事業概況 | 販管費推移 通期見通し

- ✓ 2024年1Qは、人件費も含め販管費全体で、販売先フォーカス変更・AI体制等の体制整備投資・CASHMART分（事業譲受）・為替影響による増加。
- ✓ 2024年2Q以降は、全体の50%程度の人件費は通常と同様の傾向。人件費以外は季節的な上下動はあるものの安定的に推移の見通し。



*2022年4Q 2023年への先行投資分除き

社名変更

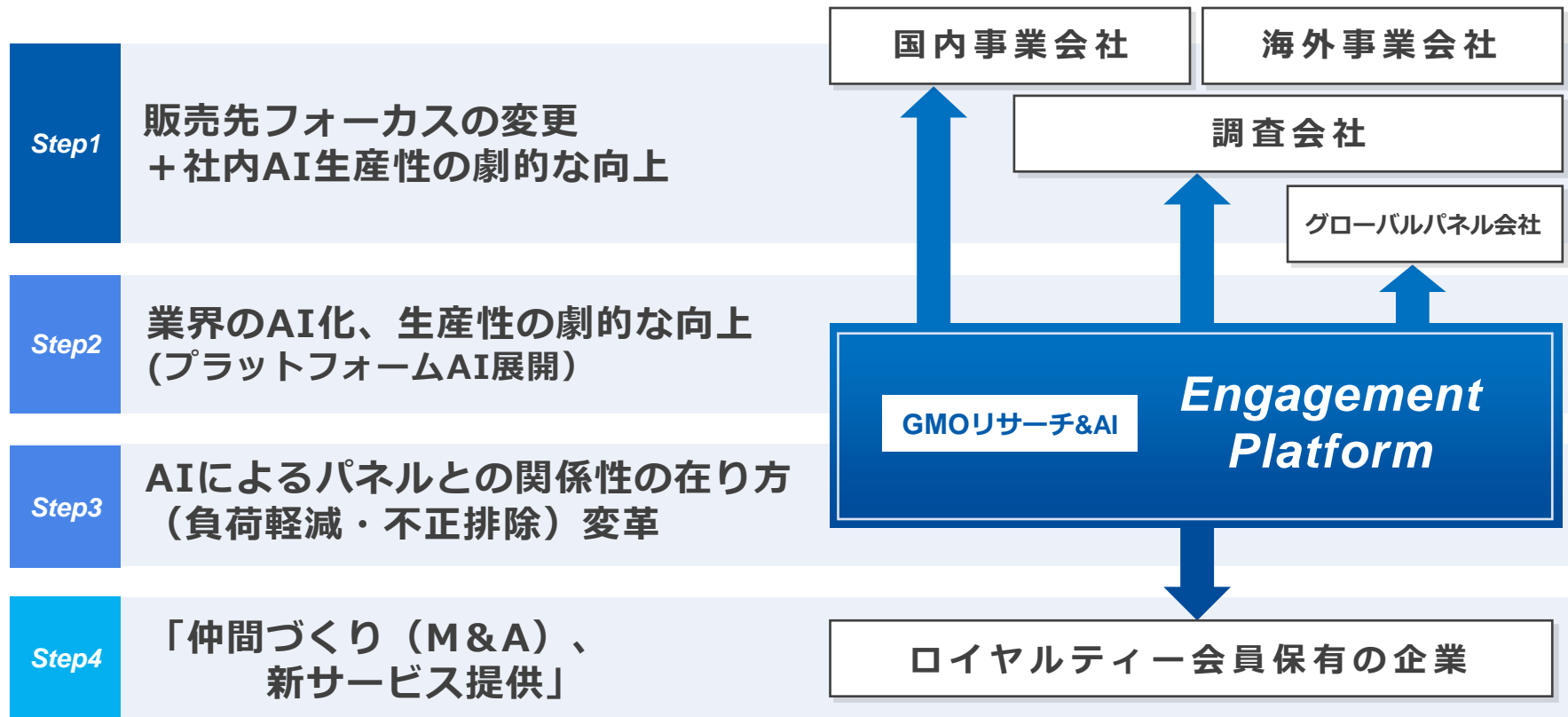
2024年5月1日より

GMOリサーチ & AI株式会社

当社プラットフォームのAI化を進めることで、業界全体のAI化を促進し、AIによる大きな変革の波をリードする意思を示しております。

市場調査・マーケティング領域においてAIを駆使して革新していくという覚悟を持ち、業界全体の生産性向上と市場拡大を推進します。

事業概況 | 当社の今後の成長ステップー概略



事業概況 | 当社の今後の成長ステップー時間軸



想いを、世界に

Engaging people around the world

GMO RESEARCH & AI

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。
従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。